

## 令和2年度事業報告

鹿児島水先区水先人会



令和2年度は、水先法の目的に鑑み、会員の品位を保持し、水先業務の適正かつ円滑な遂行に資するため、合同事務所において会員のする水先の引受けに関する事務、水先人の養成並びに会員の指導、連絡及び監督に関する事業を実施した。

### 1. 重点事業

水先人が水先業務の専門職業人として、利用者の信頼に応え得る水先業務の遂行に資すると共に引受窓口業務の円滑な実施を図るため、事業体制の確立及び合同事務所運営を重点事業とし、また水先業務に支障を及ぼさぬように新型コロナウイルス感染症対策も推進した。

### 2. 各事業

令和2年度は水先区水先人が実施した219隻の水先業務に係る次の事業

#### (1) 適正化事業

- ・公認会計士の監査により経理処理の適正かつ透明性の維持を図った。
- ・九州運輸局立入検査により業務運営の適正化が確認された。
- ・水先利用者の意見・要望などについて速やかな対応に努めた。

#### (2) 水先業務の円滑な遂行のための事業

- ・水先業務の引受けに関する事務を的確に実施した。
- ・会員のための料金収受事務を行った。
- ・鹿児島検疫所による感染症対策講習会を開催した。

#### (3) 水先人養成関連事業

- ・水先修業生の現場訓練や港域説明等水先人養成教育を実施した。
- ・定期的健康診断により健康管理の促進など品質管理に関する事業を推進した。

#### (4) 会員の指導・連絡

- ・日本水先人会連合会主導の「乗下船安全キャンペーン」及び「安全運航強調月間」活動を推進した。
- ・新型コロナウイルスなどの感染症への対応要領を制定した。

#### (5) 水先人の会務関係事業

次のとおり、水先人会の運営促進のために会議等を開催し、また、海難防止及び水先業

務の円滑な遂行のため、関係者との協力関係整備を図るべく会合や意見交換を行った。

(\*印は部外会議)

- ・水先人会運営のための会議 (総会・運用基準検討会) 3回
- ・日本水先人会連合会の会議 (総会、業務連絡会) 2回 (\*)
- ・九州水先人会連合会の会議 (総会) 1回 (\*)
- ・水先区の関係者との会合 11回 (\*)  
(代理店並びにターミナル関係者との業務連絡会、台風対策委員会)
- ・海難防止・航行安全対策委員会の会議 5回 (\*)  
(川内港長期構想検討委員会、航行安全対策調査専門委員会など)
- ・港湾管理者・保安部との意見交換会 5回 (\*)
- ・公認会計士監査 2回
- ・九州運輸局の調査等 (立入検査、港勢調査) 2回 (\*)

(6) 業務取次窓口業務

- ・同時間帯の水先業務依頼船があれば非番の水先人による対応や関係者による時間の調整を図った。

(7) その他の事業

- ・海事の振興に必要と認められる事業への協力や助言を行った。
- ・九州地方整備局招集の水際・防災対策連絡会議の会員として参加した。

3. 会員の現況及び異動

令和元年度末現在 在籍者数	入 会	退 会	令和2年度末現在 在籍者数
3名	0名	0名	3名

4. 令和2年度水先実績

日 本 船			外 国 船			合 計		
隻数	総トン数	水先料	隻数	総トン数	水先料	隻数	総トン数	水先料
15	1,080,663	2,062,149	204	6,335,410	21,860,772	219	7,416,073	23,922,921

以上